

## 4. 整備方針の設定

再整備テーマ、整備方針を以下の通り設定した。

### ①再整備テーマの設定

芹ヶ谷公園は、(仮称)町田市立国際工芸美術館の建設により、2つの美術館が芹ヶ谷公園と一体化することになり、芸術の杜としてふさわしい公園づくりが期待されている。また、町田荘跡地や都営跡地の活用、公園のもつ防災機能の強化、園内防犯機能の充実が求められている。

一方、中心市街地が様々に変化を続けている状況の中で、中心市街地と公園の人の流れを重視し、魅力ある公園づくりと新たな賑わいづくりを行っていくことを目指していく。

以上の状況を踏まえ、芹ヶ谷公園の再整備のテーマを以下のように設定する。

～再整備のテーマ～

“まちなかで 人と緑が 出会い ふれあう 芸術の杜”



### ②整備方針の設定

#### 1) 町田駅周辺の回遊性、賑わいを創出する場とする

- ・中心市街地との回遊性を高め、来街者が休憩したり食事をしたり、自由楽しめる場にする。
- ・中心市街地に接する開放的でおしゃれな空間として整備し、老若男女のデートスポットともいえる場にする。

#### 2) 文化芸術を発信する場とする

- ・町田市立国際版画美術館や(仮称)町田市立国際工芸美術館を中心に、文化芸術の薫る場とする。
- ・中心市街地から公園までのアクセス路に文化芸術を感じられるようにする。

### 3) 人々が集い憩う場とする

- ・ 谷戸地形や湧水など、地域の自然を感じることができる貴重な資源を活用する。
- ・ 市民が安心して気軽に集い、憩える場とする。

### 4) 遊び学べる場にする

- ・ 豊富な水や緑と触れ合い、広い空間で自由に遊ぶことができる場とする。
- ・ 地域の歴史を学び感じる場とする。
- ・ 地域住民が集い憩う中で自然に見守られながら、子ども一人ひとりが健やかに育つ場とする。

### 5) 何度でも訪れたいくなる場とする

- ・ 四季折々、行く度に楽しめる花木や草花の配置を行い、1年を通じて思い出を作れる場にする。
- ・ 様々なイベントや美術館でのワークショップ等を開催し、多くの人々が興味を持てる場とする。
- ・ アクセスや案内表示などの周辺環境を整備し、誰もが行きやすい公園とする。
- ・ 大型複合遊具やなどの整備により、子どもたちが楽しみ思い出となる場を提供する。

### 6) 中心市街地の防災力を支える場とする

- ・ オープンスペースの確保と防災関連設備の充実を図り、中心市街地の防災力を向上させる。
- ・ 防災機能を地域住民や中心市街地への来街者に広く周知する工夫を行い、防災意識の向上につながる場とする。



※ゾーン位置、概要は、次章を参照のこと。